

■ 読書日記の使い方 ■

※こちらは中学校の先生向けに発行しているものになりますが、子どもたちがどのようにして使っているかの参考になればと思います。

平成24年にかほく市立中央図書館が開館するにあたり、かほく市立中央図書館では読書日記を発行しました。その後、平成25年に小学生版、平成29年に中学生版を発行し、市内の小中学校で活用いただいております。

読書家の多くの人も読書日記をつけることを薦めていますが、その理由として、読書の記録はその人の趣味や興味、読書から得た知識や知恵、何を感じ、考え、どう成長していったのかという記録になっていくからだそうです。 人格の形成には読書が大きくかかわると言われています。もちろん、読書だけで人格ができるわけではなく、いろいろな体験や人との出会いが人格をつくっていくわけですが、読書での疑似体験や本との出会いが、実社会での体験や出会いの土台やきっかけになることは数多くあると考えられます。 生徒たちが、中学生のあいだに何を读み、どう成長していったのか記録していく読書日記は、卒業アルバム同様にとっても中身の濃いものになると思っています。また、先生方にとっては、子どもの興味・関心・特性や個性を知るためのツールにもなると思いますので、ぜひ有効にご活用くださいますよう、お願いいたします。

* 参考図書

- ・『「ヨコミネ式」天才づくりの教科書』横峯吉文(講談社)
- ・『ヨコミネ式子供が天才になる4つのスイッチ』横峯吉文(日本文芸社)
- ・『図書館の学校』(公益財団法人図書館振興財団機関紙)
- ・『親子で書こう!100 さつ読書日記』北川 達夫監修(経済界)
- ・平成28年度教科書(中学校国語科用)『国語1. 2. 3』(光村図書)

かほく市立中央図書館

読んだ本を記入するページ

書名・著者名/訳者名、出版社、評価、入手先、MEMO(感想、気に入った言葉、一文、場面など)を記入できます。MEMOには発行年、読もうと思ったきっかけ等を記入してもよいでしょう。ノート1冊につき、100冊分記入できます。

読みたい本リスト

図書館や書店に行ったり友達にすすめられたりして興味をもった本は、「読みたい本」としてメモしておきましょう。チェック欄は読み終わったら✓を入れるか読み始めの日を記入するなど工夫して活用してください。25冊分記入できますが、足りなくなったらコピーして貼ってもいいでしょう。



表紙

開始日・終了日・何冊目か・名前・学年・組が記入できるようになっています。2冊目からは、製本テープで貼りあわせるか、穴を開けて紐で閉じるかしてください。ノートが段々分厚くなるにつれ、積み重ねが目に見えるので、達成感が増します。

1年間に読んだ本

1年間に何冊読んだか記入できます。学年ごとに記入するとよいでしょう。どれだけの本を読んだか、振り返ることができます。

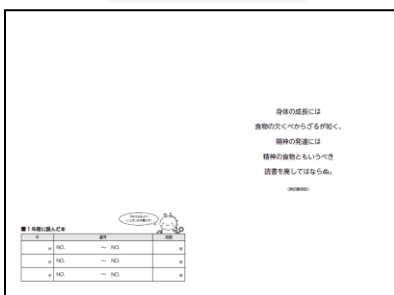
読書日記の扉となる右側部分には、西田幾多郎の言葉を添えてあります。

先人たちの読書観

先人たちの読書との関わり方・感じ方から自分のこれからの読書生活をデザインするヒントを得られるのではないのでしょうか。

裏表紙

表紙の絵は、かほく市立中央図書館のキャラクター「うんとくん」です。うんとたくさん本を読んでほしいという願いをこめて、市民の公募の中から選ばれた名前です。「うんとくん」は成長するとちょうちょになります。生徒たちも、本を読むことで大きく成長してくれることを願い、裏表紙にはちょうちょをデザインしました。



読み終わった本の
書名を記入します。

作者を記入すると、面白い本の作者、自分の好きな作者が
わかるようになり、読みたい本を選ぶ力がつきます。同じ
著者の他の本を読んでみるのもいいですし、次に読みたい
と思う本を見つけるきっかけになります。

出版社を記入します。教科書では発行所名と説明し
ています。記入していくうちに、出版社ごとの特徴
がイメージできるようになり、次に読みたいと思う
本を見つけるきっかけになります。

1から100まで
通し番号がついて
います。

読み終わった日
を記入します。
読み始めも覚え
ていて記入した
い場合は余白や
MEMOを利用
してください。

後で読み返したくなっ
たとき、どこの本だったか
わかっていると探しやすい
です。読書環境の記録
にもなります。

自分の感想を振り返り、
ものの見方や考え方を深
めることができます。読
みたいと思ったきっかけ
を書いておくのもいいで
しょう。

☆をなぞったり、色をぬったり、✓を入れたりして評価を記入します。感想を振り返るきっかけになります。
読書生活を振り返ったり、後から思い出す時、読み返す時にも役に立ちます

NO.	書名	著者名/訳者名	出版社	評価	入手先	メモ
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						